



くちのえらぶしま

屋久島町口永良部島新岳噴火災害 日赤から救護班派遣

5月29日、屋久島町口永良部島の新岳が噴火し、全島民が島外への避難する事態となりました。日本赤十字社鹿児島県支部は、救護班やこころのケア要員を派遣し、健康相談や救援物資の輸送を行いました。（詳細は1ページを参照）

CONTENTS

- 1 屋久島町口永良部島新岳噴火災害 健康相談や炊き出しなどを実施！
- 2 太鼓演奏やフラダンス！園内レクレーションを開催しました!!（特別養護老人ホーム錦江園）
- 3・4 平成26年度日本赤十字社鹿児島県支部 活動資金使途報告
- 5 お知らせ

 屋久島町口永良部島新岳噴火災害
健康相談や炊き出しなどを実施しました！

5月29日午前9時59分、屋久島町口永良部島の新岳で爆発的噴火が発生し、全島民の島外避難が指示される事態となりました。

日本赤十字社鹿児島支部は、医療救護班1個班（医師、看護師ら6名）と連絡調整員1名の派遣を決定。救護班は、昨年「海上災害等における相互協力に関する協定」を再締結した鹿児島海上保安部の協力のもと、同日午後1時頃（噴火発生の約3時間後）、巡視船「くさかき」に乗り込み、毛布・タオルケット各100枚と緊急セット60セットとともに、島民の避難先である屋久島へ向かいました。



（写真：海上保安部の巡視船に乗り込む救護班）

同日18時頃、屋久島の宮之浦港へ到着した救護班は、避難所の一つとなっている福祉施設「縄文の苑」に入り、屋久島町役場に設置された災害対策本部等と調整し、翌30日午前9時から31日まで、同施設において血圧の上昇や不眠の症状を訴える方々の健康相談を行いました。

また、31日には、救護班と入れ替わりに、こころのケア要員2名（鹿児島赤十字病院の看護師）が現地に到着し、6月1日までに、29名の血圧測定や健康相談などを行いました。



（写真：避難された方々の健康相談を実施）


一方、地元屋久島町の赤十字奉仕団も、29日～6月1日までの4日間、延べ40～50名の団員が3箇所の避難所に分かれて、炊き出しや声かけなどを行いました。

炊き出しには、役場に差し入れのあった地元食材も活用し、地元で獲れた魚で作ったさつま揚げや、シカ肉のから揚げなども提供しました。

避難された方々からは、「温かい食事がありがたかった」と感謝の声が聞かれました。



（写真：奉仕団による炊き出しも実施）

 特別養護老人ホーム 錦江園 太鼓演奏やフラダンス、合唱などなど…
園内レクリエーションを開催しました！

5月17日(日)に当園にて園内レクリエーションを開催いたしました。入居者の皆さまはもちろん、多くのご家族や近隣町内会の皆さま、そしてボランティアの皆さまが参加し、大賑わいでした。

太鼓演奏や踊り・フラダンス、合唱などを披露していただき、入居者の皆さまも一緒に手を叩いたり、踊ったりしながら楽しんでおられました。また、ボランティアの方々と握手を交わす場面では、入居者の皆さまの素敵な笑顔があふれました。

ご参加いただきましたボランティアの皆さま、ありがとうございました。



屋久島町口永良部島新岳噴火災害義援金

被災された方々を支援するために義援金を受け付けます。

受付期間：平成27年12月25日（金）まで

受付口座：鹿児島銀行 鴨池支店（普）664155

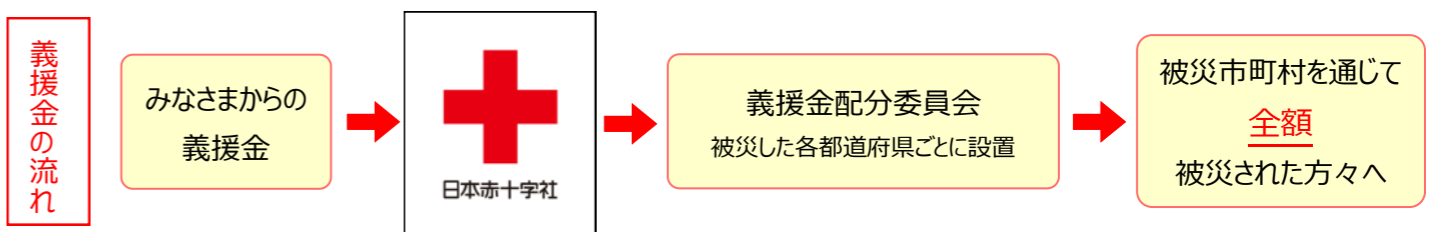
口座名義：日本赤十字社鹿児島支部長

- 振込通知書に「口永良部島噴火災害」と明記してください。
- 受領証をご希望の場合は、「受領証希望」と明記してください。

※ゆうちょ銀行などでも受け付けています。詳しくはホームページをご覧ください。

お問い合わせは、日本赤十字社鹿児島支部（TEL099-252-0600）まで。

国内での災害に対する義援金は
全額が被災された方々に届けられます。



皆さまから寄せられた活動資金（社資）は、 このように使われました。

例えば500円のご協力なら・・・

15,588 <災害救護活動>
被災した方を救うために



平時から災害に備えるため、常備救護班 8 個班(48名)を編成し、県内外の訓練に参加しました。

また、県内には毛布や緊急セットなど15,588の災害救援物資を備蓄しており、風水害や火事などの被災者にお届けしました。
(写真：訓練の様子)

災害救護活動のために

30円

将来の災害への備えと翌年度の活動のために
(繰越金を含む)

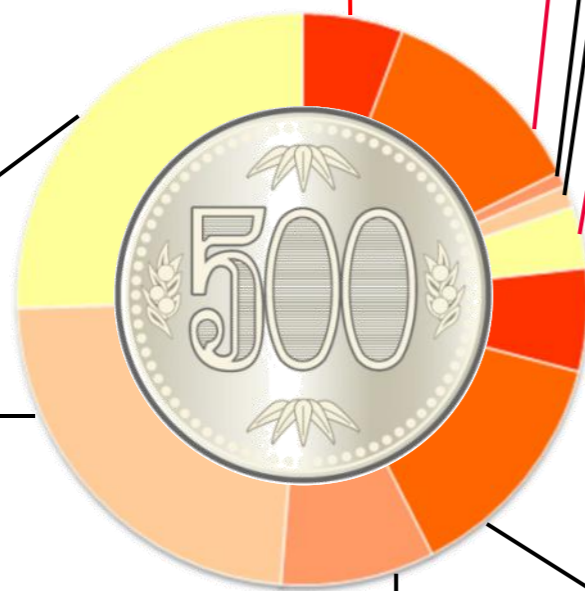
125円

赤十字運動の運営と設備整備等のために

115円

赤十字思想普及のために

45円



(平成26年度一般会計決算より)

国際活動のために
(本社における赤十字活動を含む)

60円

医療・献血・
社会福祉のために

5円

救護看護師養成のために

5円

救急法等講習会のために

20円

赤十字奉仕団・
青少年赤十字育成のために

30円

市町村における
赤十字活動のために

65円

189
の国と地域

<国際活動>
世界で災害や紛争などで苦しんでいる人を救うために



(写真：エボラ出血熱 救援活動)

災害や紛争、病気などに苦しむ人々を救うため、世界189の国と地域に広がるネットワークを活かして、緊急時の救援や復興支援、予防活動に取り組みました。

17,012人

<救急法等の講習>
人間のいのちと健康を守るために



(写真：講習会の様子)

応急手当や日常生活での事故防止など、健康安全に関する知識・技術の普及と啓発を行いました。昨年度は県内で17,012名の方が受講しました。

69団

<赤十字ボランティア>
社会貢献をするために



(写真：アマチュア無線奉仕団による非常通信訓練)

災害時の被災者支援や地域での福祉活動など、県内に69ある赤十字奉仕団の活動の促進を図りました。

473校

<青少年赤十字（JRC：Junior Red Cross）>
「命の大切さ」を学び、
「思いやりの心」を育むために



(写真：講義の様子)

473校（園）の児童・生徒たちが実践活動を通じて、自ら「気づき、考え、実行」できる学びの機会を提供しました。

お知らせ

海やプールなどで子どもの命を守る！ 親子で体験！海の安全教室

水の事故から身を守る知識や技術を親子で楽しく学べます。
夏休みの自由研究にもお勧めです。

開催日：8月9日（日） 午前・午後の回（各2時間）
午前/10：00～12：00
午後/13：00～15：00

場所：レインボービーチ（鹿児島市桜島横山町）

対象・定員：県内の小学生およびその保護者
午前・午後 各30組60名（先着）

※可能な限り保護者の方も一緒に海にお入りください。

参加費：無料

申込期間：7月1日（水）～7月31日（金）



心肺蘇生やAEDの使い方を学ぼう！

ワールド・ファースト・エイド・デイ 2015

毎年9月の第2土曜日を中心に、世界各国の赤十字で実施されるイベント！
心肺蘇生やAEDの使い方を気軽に学べます。
ぜひご家族やお友達と一緒にどうぞ。

開催日：9月6日（日） 10：00～17：00

場所：オプシァミスミ鹿児島 1階中央イベント広場

参加費：無料



看護師を目指している高校生のみなさんへ

日本赤十字九州国際看護大学 鹿児島県支部長推薦生（奨学生）の募集！

将来、鹿児島県内の赤十字施設で看護師として社会貢献したい
学生のために、日本赤十字社鹿児島県支部には奨学金制度が
あります。

まずはオープンキャンパスに参加してみよう！

開催日：①7/26（日） ②9/27（日）（両日とも10時～14時）

場所：日本赤十字九州国際看護大学（福岡県宗像市）

お問い合わせ：TEL 0940-35-7008（学生課）



 **日本赤十字社** 鹿児島県支部
Japanese Red Cross Society

099(252)0600
URL : <http://www.kagoshima.jrc.or.jp> E-mail : shibu-rc@po.minc.ne.jp

日赤鹿児島県支部

検索